

会 議 名	第1回 板橋区消防団運営委員会
開 催 日 時	令和6年1月25日(木) 午後3時30分から午後4時20分まで
開 催 場 所	板橋区役所4階 災害対策本部室
出 席 者	<p>[委員(敬称略)] 14名 かまた悦子(都議会議員)、とくとめ道信(都議会議員)、 宮瀬英治(都議会議員)、田中やすのり(区議会議員長)、 しば佳代子(区議会議員)、いがらし学(区議会議員)、 小柳しげる(区議会議員)、ひはらみちこ(区議会議員)、 間中りんぺい(区議会議員)、長谷川清美(板橋消防署長)、 高崎剛彦(志村消防署長)、大野治彦(板橋消防団長)、 山口彦市(志村消防団長)、石川隆彦(板橋防火防災協会会長)</p> <p>[消防署] 渡邊哲也板橋消防署警防課長、西谷和之志村消防署警防課長</p> <p>[事務局] 三浦康之危機管理部長 牧修造地域防災支援課長</p>
会議の公開(傍聴)	公開(傍聴できる)
傍 聴 者 数	0人
議 題	諮問事項「変化する社会情勢に適応した特別消防団の組織力を向上させ、住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか」
配 布 資 料	1 次第 2 委員会名簿 3 都知事諮問事項 4 第1回板橋区消防団運営委員会会議資料
所 管 課	危機管理部 地域防災支援課 消防防災担当 (電話3579-2158)

発 言 者	発 言 内 容
事務局 地域防災支援課長	<p>本日はお忙しい中、第1回板橋区消防団運営委員会にお集まりいただきありがとうございます。本日進行を務めさせていただきます板橋区危機管理部地域防災支援課長の牧でございます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>運営委員会を始める前に、今回委員にご就任いただいた方々の紹</p>

	<p>介をさせていただきます。委嘱状は机上に配布とさせていただきますので、お名前をお呼びしましたら、その場でお立ちいただきたく存じます。</p> <p style="text-align: center;">～順番に紹介～</p> <p>それでは、ただいまから第1回板橋区消防団運営委員会を開会いたします。はじめに委員長より挨拶をお願いいたします。</p>
委員長 坂本区長	(あいさつ)
事務局 地域防災支援課長	<p>委員長、どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、議事進行をお願いいたします。</p>
委員長 坂本区長	<p>それでは、早速であります、議事に入らせていただきます。</p> <p>初めに今回の諮問事項の簡潔な説明並びに課題と検討事項について、板橋消防署渡邊警防課長様からご説明お願い申し上げます。</p>
板橋消防署 警防課長	(資料説明)
委員長 坂本区長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいま説明をいただきましたが、改めてお手元の資料を、都知事からの質問事項が、A4の形になっておりますが、ご覧いただきますと、裏面にも都知事からの名刺として諮問事項と趣旨が記載されております。</p> <p>諮問事項には「変化する社会情勢に適応し、特別区消防団の組織力を向上させ、住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか。」その内容についての趣旨が、以下に記載されておりますので、これに沿って今事務局から資料を作成していただきまして、大変詳しく課題並び検討事項と課題を2つに分けていただきましてご説明いただきました。誠にありがとうございました。</p> <p>日程は、最後に申し上げましたとおり、今回の諮問についての答申については確認でございますが、今回が1回目の会議でありまして、今日は諮問事項についての説明をさせていただき、皆様から広くご意見を上げていただいて、そして第2回目の6年、今年の9月の中旬ぐらいには答申案を、今日の議論を通じましてまとめていきまして、そしてそれを案として議論していただきまして、3回目は令和7年ですので、ちょうど1年後の1月今頃でございますが、答申の取りまとめをして次の年度の3月まで、ちょうど1年を要して東京消防庁の防災部に答申をするという予定になっております。</p> <p>ぜひそのスケジュールに乗っていくように議論していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>また、今日は、皆様のご都合もあると思っておりますので、大体1時間ぐらいで意見収集をしたいと思っておりますので、その点も含めてご協力をお願いしたいと思っております。</p> <p>それでは、どうぞ皆さんから今の説明に対しまして、また都知事の諮問の内容を見ていただきまして、ご質問やご意見を頂戴したいと思っておりますが、いかがでしょうか。よろしくお願ひいたします。</p>
A委員	ご説明をありがとうございました。確認ですが、今日の伴う1回

	<p>目の意見は3月31日までにメールでということなので、ここで今発言をされているのか、それとも、その3月31日までにメールで送信をするのか、話したことを改めてメールしたほうがいいのかというの。</p>
委員長 坂本区長	<p>今日は質問中心がよろしいですかね。一応資料ができますので、この資料をもとにご質問中心にさせていただいて、ご意見も頂戴しますか。</p>
A委員	<p>どちらでも。</p>
委員長 坂本区長	<p>まずは前半で質問をまず中心にしていきましょう。</p>
A委員	<p>質問だけさせてください。今の資料の中にあつた火山噴火に対するページがあつたと思うんですが、これが最新の技術等を考慮した活動環境等についてのページの中にあつたものだと思います。</p> <p>最新の技術等を考慮した活動環境の改善方法を検討する中に、唐突感が私にはいきなり、火山の噴火の話が出てきたので、この関連というか、この項目の中でどんなふうにつながり火山の噴火についてお話しする予定なのかということを確認しておきます。</p>
板橋消防署 警防課長	<p>こちらの噴火等でございますが、これまで地震、水災についての準備というものは、資機材等々を準備しているんですが、噴火災害、火山災害等に対しては全く準備というものをしなかったということです、その準備も必要じゃないかということで入れさせていただいたものでございました。</p>
A委員	<p>分かりました。ありがとうございます。</p> <p>あとは意見ですので、メールにて流したいと思いますが、1点最後の要望というか、可能であればお願いですが、次回以降同じような資料が出てくる場合、もし可能であれば事前にいただけたら嬉しいなと思っていますので、その点の要望だけお伝えして、あとはメールでやりたいと思います、ありがとうございます。</p>
板橋消防署 警防課長	<p>承知しました。</p>
B委員	<p>ご説明ありがとうございます。いただきました資料の最後から2番目のところで、現状考えられる方策のところ、令和6年度に全国初の都市防災技術科を創設する高等学校があるということですが、これは区内の高等学校ということですかね。どこの高等学校なのかということと、これはどうやって新しい団員の獲得のために活用していくのかというのを伺えますか。</p>
板橋消防署 警防課長	<p>まず、高等学校でございますが、富士見町にあります北豊島工科高等学校というところが、令和6年度に実施する予定ということで伺っております。</p> <p>また、どのようにアプローチしていくかということですが、高校段階、授業の中で説明させていただくとか、まだ具体的なものはございませんが、イメージとしてはそのようなものでございます。</p>
B委員	<p>あと何点かあるんですが、モチベーション向上のための報酬制度</p>

	を導入ということですが、手当の増額というところで、これはどこからお金を出してくるということですか。
板橋消防署 警防課長	まだ具体的なものは考えておらず、イメージということで入れさせていただきます。
B委員	先ほど火山の噴火のところで追加があったんですが、今回の能登半島地震、あるいは板橋区の災害の想定が、震度6から震度7に変わるということを踏まえた検討事項というのはどこにありますか。
板橋消防署 警防課長	広く震災についてもご意見いただければと思っております。
C委員	ご説明ありがとうございます。私からは1点ほど確認させていただきたいと思います。 4ページ目の検討の方向性1-1、オレンジ部分の最後③ですが、こちら、各地域に根付いている企業や官公庁、消防団、教育事業者等との連携した講習等とか、ワークショップの発掘と記載があるんですが、この企業といいますと、板橋ですと、消防に関する業種に限定されるのか、それとも広く募っていくのか、そこをお聞かせさせていただきたいと思います。 もう1点ですが、消防団協力事業所につきまして、板橋には何事業所、数としてあるのかを教えてくださいたいと思います。
板橋消防署 警防課長	今のところ消防団に限定したということで広くと考えております。また、事業所数については、今資料がないということですので、また分かり次第ご連絡させていただければと思います。
D委員	課題2-1の検討の方向性の①番の最初の黒ポチのところに、目標成果シートの作成などということで、多分これは例の一つとして書いてくださっていると思うんですが、例えばこれをやる場合に、どの方がこの成果シートを作成するのかというのを教えてください。
板橋消防署 警防課長	まだイメージでございしますが、入りたての経験の浅い消防団員の方、これからいろいろと技術を身につけなければいけないということで、入りたての団員のような方をイメージしておりました。
D委員	その新しい団員の方自身が書くということですかね。
板橋消防署 警防課長	ある程度こちらで、この辺の段階までできるようになればというように目標を示して、それをどちらでやるというのは、まだイメージを持っておりませんでした。
D委員	結構行政側に行ったりしますと、こういうシートとか書きがちだなと、私は思っているんですが、消防団の方々、普段の訓練で本当に時間をつくってくださっているんで、できればプラスの負荷をかけないような体制をぜひ取っていただきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。
板橋消防署 警防課長	承知しました。
E委員	今日提案されている課題とか検討事項の中身が、1行とか2行という範囲なので、言いきれない面があるんじゃないかと思うんですよ。

聞いていて自分なりに思うのは、この提案された部分が1行か2行ぐらいになると、もうちょっと説明が分かりやすくなるんじゃないかという感じがするんですね。

そこで、例えば、資機材をもう少し強化するという文言があったりするんですが、お金に関わる部分もあったりするんですね。

このお金をどこが出すことを想定されているのか、「あんたは都議会議員だから、東京都から出してよ」という話もあるかもしれないですが、それは私が決められることじゃないんです、

ただ、板橋区や東京都が、そういうことが現場からの必要性がはっきりしてくれば、今日実は東京都の予算決まったんですが、結構機材は最先端の機材がものすごくついているんですよ。

それはいろんな被害が全国的にも広がりつつあるから、それはきちんと現場で有効に機敏に活用できる機材を、東京都が確保しなきゃいけないという問題意識で付いてきていると思うんですよ。

ただ、現場の自治体とかが、消防団ごとにこういうのが必要だなと言ったときに、どこかでちゃんと対応できるのかということも、いざというときには多分出てくると思うんですよ。

だから、そういうことが書ききれてないから、私はそれを言ったわけですが、もう少し皆さん方が日常経験されている活動から、入り口としてこういうのが大事だなということと、もう少しみんながイメージが湧くように言ってもらったほうが、私は大事じゃないかなという気がしているんですね。

さっきの高校の問題も、私が勝手に思うには、その高校が進学高校じゃなくて、将来就職するときに選択に結びついて、そういう方々にぜひこういう活動に参加してみませんかとすれば、それはイメージが湧くと思うんですよ。参加すれば若干の手当みたいなものを付ければね。

それから、3つ目には、最近板橋区の区報に消防団が責任でつくっていらっしゃるんですかね、カラーの折り込みが入ってきたりすると思うんですが、これももっと問題意識を、現場の心配事とかいうものと結んで提案をすることと、板橋の消防団がどういう活動しているかということも、アピールするというような中身したら、イメージがつくんじゃないかと思います。

それから、最後なんですけど、富士山の噴火の問題が出ましたよね。暮れのNHKだったかどこかで巨大な報道があったんですね。

タモリさんが主人公で、富士山というのは休火山なので噴火が起きることはないんだと思っていたら、とんでもないという話だったんですね。

だから、何百年に1回かは必ず起きているので、そのぐらいの規模で富士山は、今活動してないけれども、ひょっとしたらそういうことはあり得るということで、東京都もそうですが、そのテレビを見た人たちも、そんなことがあるのと多分思ったと思うんですが、私も思ったけれども、それっきりで終わっちゃうという感じがするんですよ。

	<p>だから、そういうことをどういうふうにして警戒心を持ってもらう、興味を持ってもらうかということで、アピールするという点では、先ほど言いました区報なども活用して、ただ「危ないぞ」と言っても脅しているようなものだから、「こういうことがあり得るし、そのときはこういうことが大事ですよ」ということを、宣伝するということが大事じゃないかなと感じました。</p> <p>冒頭に言ったことがものを言うにしても、今日の意見交換を通じてイメージが膨らんで、もっと提案の中身が練られてくると、もっとこの1行、2行の中身を、「こういうことはどうですか」というような形で提案することは可能なのかなと思います。</p>
板橋消防署 警防課長	<p>ありがとうございます。これからいろいろ意見いただきまして、また膨らませていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
事務局 地域防災支援課長	<p>区報については、委員のおっしゃるとおり、区報は非常に区民に対してPRするには有効な手段と考えていますので、消防団の方が活躍する写真とかも、ここに載せてPRすることは、可能性が十分あると考えていますので、活用を積極的に検討したいと思っています。</p>
E委員	<p>私興味を持って見ているけれども、情報だけバーっと出ると、なかなか興味を持って読みにくいと思います。</p> <p>そういうことを頼りにして、暮らしの役割に使いたいと思う人に対して、もう少しカラーを使ってみんなにアピールしたいテーマを絞って、区報できちんとやれば、「こういうのもあるんだ」と興味を持って見てくれるチャンスになるんだと思うんですよ。</p> <p>とにかく区政のいろんな活動されているものを、みんなにお伝えしたいということで、ものすごい細かい字で全部載っちゃっていると、私などは見たりしますよ、仕事柄ですからね。</p> <p>でも、一般の人がそういうふうに見るといえるのは容易じゃないと思いますので、火災の問題とか地震の問題とか、今日議題になっているような問題も、そういうことに分かりやすくテーマを絞って、多分折込みになりますよね、新聞か何か。</p> <p>だから一応手にしたことの無い人にも基本的に届くわけですよ。押し付けるわけじゃなくて、「読んでください」と。</p> <p>捨てている人もいるかもしれないけれども、そういう活動とかアピールをしないと、何も知らないまま突然この災害にぶつかって、それがきっかけで対応が遅れちゃったということはあると思います。</p>
委員長 坂本区長	<p>ありがとうございます。全般的に分かりやすい広報というのは、大変重要だと思いますので、今回の答申だけじゃなくて、行政のほうも区民の安心、安全ですので、そういったところによく気持ちが届くような伝え方をしたいと思いますので、関係の皆さんにもまた協力をお願いしたいと思います。</p>
F委員	<p>いくつかお聞きしたいんですが、モチベーション向上のための報酬制度の導入という項目があるんですが、これは今回の諮問事項に</p>

	<p>あたって板橋消防署で考えられたものなのかを聞かせいただきたいと思います。</p>
板橋消防署 警防課長	<p>イメージとして挙げさせていただきました。</p>
F委員	<p>私の個人的な考えですが、消防団活動というのは、結果的に費用弁償がついてくるものなので、過去に比べると費用弁償が結構高くなってきますので、余り金額目当てというのを表に出さないほうがいいんじゃないかということ、この実績や出場率なんていうことが関わってきますと、余計なんかぐちゃぐちゃになってくると思うんです。</p> <p>ごめんなさいね、日頃よりお世話になっているのに申しわけないんですが、余りこういった生々しいことは載せないほうがいいのかなと、私の個人的な考えですが、それが1点です。</p> <p>それと、最後のページで先ほどから意見が出ているんですが、富士山の火災と今回の諮問事項というのは当てはまらないと思うので、これはこれとして参考資料ということで諮問事項に対する回答には、余り触れないほうがいいんじゃないのかなと思います。</p> <p>それと最後に2点ですが、これも最後のページで現状を考える方策で、区と各種団体とのコラボ企画で、区職員が防災クイズを行った実績が出ているんですが、これについてのご説明と、あと過去に転入届を出した人に対して、消防団のチラシを入れていただいて、入団促進を兼ねて、過去にも実施していただいているので、それがまた新たにこういった形で実施できるかどうかについてお伺いしたいと思います。</p>
板橋消防署 警防課長	<p>まずコラボ企画でございますが、これまでお祭り等々で実施していたような実績もあるようです。</p> <p>そこで、区の職員の方が防災について地域の方々にクイズを行ったというものでございますので、もしそこに消防団に関するクイズを入れていただければ、より消防団に関するものが皆様に広報できるのではないかなということで入れさせていただいております。</p>
事務局 地域防災支援課長	<p>先ほどのコラボ企画ですが、実は板橋プロレスさんと、消防署さんと連携して、区の職員がクイズ大会をやらせていただいて、大変好評だったので、そういったことも今後も積極的にやっていきたいなど。</p> <p>あと、転入者で来庁する方への消防団の勧誘については、担当部署にも確認したところ、そういったことを今後やろうとすれば可能だという話をいただいているので、そういったところで載せさせていただいているところです。</p>
委員長 坂本区長	<p>先ほどの富士山の噴火の話、皆さんにもご提案で少し意見を周りの方に聞いてみたいと思います。これはどうですか。持ち帰って次回の答申で行きますか。多分他の区とかの連携もあると思いますので、今答えられるかは分かりませんが。</p>
板橋消防署 警防課長	<p>こちらはあくまで案としているものですので、皆様のご意見を聞いて、それでまた次の機会に聞かせさせていただいて、またご判断い</p>

	<p>ただければと思います。まずはこのような形で出ささせていただいて、これが無理だよというのであれば、当然できるような形では考えています。</p>
<p>委員長 坂本区長</p>	<p>結構これは少し次元の違う話なので、メールとかでも結構ですので、皆さんからいろいろとテクニカルな話もありますから、ご意見をいただきまして、その中で盛り込むかどうか判断していただいでよろしいですかね。</p> <p>じゃ、次回のときまでにそういった意見集約がございますことも踏まえて、入れるかどうかという判断をしてください。</p>
<p>F委員</p>	<p>最後に、板橋消防団の団員数のことに関して、板橋消防団は何もやってないんじゃないかと言われると困っちゃうので、現状にどういう動きをしているのかというのを言わせていただきたいんですが、今、板橋消防団は特別区58団中ワーストスリーに入っています。</p> <p>数年前から板橋消防団の内部で、団本部を中心に入団促進委員会というのを、定期的で開催しています。</p> <p>これは団本部が中心となって、各分団の分団長と幅広く意見を聞きましょうということで、幹部の方以外の団員とか、班長とか部長とかを一緒になって話し合いをしています。</p> <p>なかなか団員数がすごく増えるわけじゃないんですが、定期的に行うことによって、団員の方々の意識が高まってくるんじゃないかなということで行っています。</p> <p>もう1点、これも板橋消防署を通じてお願いしているのが定数ですが、350で志村消防団と一緒にです。昔は板橋も人数が多かったと思うんですが、現状、志村消防署管内の人口も増えていますということで、この分母が低くなれば充足率も上がるんじゃないかということで、私は特別区団長会の中で意見を述べさせていただいているのが現状です。</p>
<p>委員長 坂本区長</p>	<p>定数の考え方はどうかということですね。これも持ち帰っていただきたいと思います。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p>
<p>E委員</p>	<p>趣意書の冒頭に書かれている2行の文章で、自治会から防災リーダーとして2名以上の協力を得るというのは、本人がやる気があって体力上もそういう意味合ということであればいいと思うんですが、お願いする活動は結構危険だったりする活動になりかねないですよ。</p> <p>だから、例えばもっと分かりやすく言えば、その自治会の単位で2名か3名、ボランティアで何かがあったときに協力してもらえよう形で配置したいとして、どういう条件が健康とか体に必要なのかということがあるし、ボランティアだから無料ですとか、無償で手伝ってもらえますというところまではっきりさせないと迷っちゃうと思うんですよ。</p> <p>今、消防団員が定数割れで足りないという話がありますよね。私は区議会を担当している消防庁の方から話を聞いたんですが、ただ</p>

	<p>一般的に宣伝しても、なかなか結集は難しいと。</p> <p>じゃ、どうするかというと、知り合い同士で個人的に、「ぜひ一緒にやらないか」と言って仲良くなって、安心して行くような働きかけがないと、なかなか難しいというのが、彼が東京中を見ている立場から見ても、そうだというのを聞かされているから。</p> <p>「そういうのもやっているよ」という話かもしれないですが、確かに危険性が伴うし、それぞれ一人が孤立していますよね、集団の人じゃないしプロの人たちと違うから。</p> <p>だから、個人から声をかけられて、その人と交流しながら仲良くなりながら、消防団の一員となっていくということになれば、何かあったときにも相談に乗ってくれるという関係がないと、孤立しているという状況になっちゃうと、途中で投げ出しちゃうということだってあり得ますよね。</p> <p>私はそういうことを知っているわけじゃなくて、自分としてもそういう誰かが一緒にやってくれる人がいるのと、自分一人で手伝っているというのは、気持ちの上でも結構大変じゃないかなと。</p> <p>私は、もう10か所ぐらい全国の大きな地震の真ただ中に送り込まれてやっていますから、経験もあるんですが、現場にいたらなかなかそれは大変な思いをしちゃうから。</p> <p>そこは、この文章だけで留まらなくて、そういう経験があるのかどうかというのをしっかり評価されたほうがいいんじゃないかと思えますね。</p>
G委員	<p>端的に申し上げます。諮問の内容を見ると、住民の負託に応え続けるというのがメインですよ。</p> <p>これだけ能登の地震になった際の話とか教訓は受けなきゃいけない部分もあるんじゃないのかなと。</p> <p>例えば、消防団の方のご家族が被災されて、おじいちゃん、おばあちゃん、お母さんが2階にいるのを1階に下して、1階に戻って急いで消防服に着替える途中で余震といいますが、亡くなられた消防団員の方がいて、本当に責任感が強い方だと思うんですが、</p> <p>そういった意味から、消防団員というのは真っ先に詰め所に行くというのが原則ですが、一方で自分の家族や身を守るという観点も、改めて挙げていかないと、その教訓を大切にしたいと思えますが、いかがでしょうか。</p>
板橋消防署 警防課長	<p>今回の地震でそのようなことがあったと伺っております。確かに必要なことだと思いますので、検討していきたいと思えます。よろしく申し上げます。</p>
委員 板橋消防署長	<p>1点おわびでございます。本日の資料にページが入っておりませんでしたので、皆さん大変質問し難かったのではないかと思います。</p> <p>次回以降、必ずページを振りまして、皆さんにお問い合わせしていただきやすいような資料を作成したいと思います。大変失礼いたしました。</p>
委員長	<p>大体資料の説明と、その資料を基にしたご質問と、また読み取る</p>

坂本区長	<p>中でご意見も頂戴いたしました。また、これを持ち帰ってよく見ていただきまして、追加でまた個々にご意見があるかと思しますので、それは板橋消防署さんのほうに送ることでよろしいでしょうか。</p>
事務局 地域防災支援課長	<p>板橋区のほうへメールでいただければと思います。</p>
委員長 坂本区長	<p>失礼しました。今後の日程等の最後のところ、板橋区役所の危機管理部地域防災支援課のeメールがありますので、そちらのメールをお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、ご意見等のところまでは、とりあえず予定のものが終わったということでございまして、時間も迫っておりますので、今日の審議は終了したいと思っております。</p> <p>大変貴重なご意見とか、またさまざまご指摘を大変ありがとうございました。</p> <p>また、第2回目の会議におきまして、皆さんからのまた追加のご意見も含めて変更したいと思っています。</p> <p>皆様のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>それでは、進行を事務局に戻します。よろしく願います。</p>
事務局 地域防災支援課長	<p>どうもありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして第1回板橋区消防団運営委員会を閉会とさせていただきます。</p> <p>次回の委員会は令和6年9月を予定しております。詳細が決まりましたら委員の皆様へ書面でお知らせをさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。</p>